

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

大分県知事 殿



提出者 〒870-1192
住 所 大分県大分市大字旦野原700番地
氏 名 国立大学法人大分大学
学 長 北野 正剛
電話番号 097-569-3311 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	国立大学法人大分大学 医学部
事業場の所在地	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 (1年間)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	教育・学習支援業及び医療・福祉
②事業の規模	618床
③従業員数	1,950人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別添フロー図のとおり

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

感染性産業廃棄物の特別管理産業廃棄物管理責任者は病院長を指定し、特別管理産業廃棄物の適正な管理に努めている。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】 3種類目は別紙のとおり		
特別管理産業廃棄物の種類	感染性 産業廃棄物	廃油 (引火性廃油)
排出量	293.7 t	2.6 t

①現状

(これまでに実施した取組)

- 分別収集を周知するなど、排出の抑制に努めている。

②計画

【目標】 3種類目は別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の種類	感染性 産業廃棄物	廃油 (引火性廃油)
排出量	292.8 t	2.4 t

(今後実施する予定の取組)

- 排出の抑制に努めていく。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・「大分大学医学部廃棄物処理規程」により原点分別、原点処理のため必要な事項を定めている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き現状を維持する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
		(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
		(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】 3種類目は別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油 (引火性廃油)
	全処理委託量	293.7 t	2.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	293.7 t	2.6 t
	再生利用業者への処理委託量	292.1 t	2.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	1.5 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・排出の抑制に努めていく。			

		【目標】		3種類目は別紙のとおり
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
②計画	全処理委託量	292.8 t		2.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	292.8 t		2.4 t
	再生利用業者への 処理委託量	291.1 t		2.4 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	1.5 t		0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t		0 t
(今後実施する予定の取組)				
・排出の抑制に努めていく。				
電子情報処理組織の使用 に関する事項		【前年度（令和5年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		296.4 t
(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄				

別紙

(第2面)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】					
特別管理産業廃棄物の種類	強酸	—			
排 出 量	0.1 t	— t			
(これまでに実施した取組)					
<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 分別収集を周知するなど、排出の抑制に努めている。 					
<p>②計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出の抑制に努めていく。 					

(第4面)

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】					
特別管理産業廃棄物の種類	強酸	—			
全処理委託量	0.1 t	— t			
優良認定処理業者への 処理委託量	0.1 t	— t			
再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	— t			
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	— t			
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	— t			
(これまでに実施した取組)					
<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出の抑制に努めていく。 					

【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類 ②計画	強酸	—
	全処理委託量	0.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・排出の抑制に努めていく。 		

特別管理産業廃棄物の発生・処理フロー図

